



# 身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2021.10.14

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)  
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋  
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

10~11月の石神井川観察は、10/29(金)、11/11(木)、11/26(金)  
10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもと出発

## 緑道の秋は「春の復活」の様相

前号9/30レポートの見出し「秋の花はもちろん、春から冬までなんでもありの石神井川緑道」に続いて今号10/14の見出しも何を言っているのかわからない方がいらっしゃると思います。秋なのに秋らしくないと言いたいのですが、実際に緑道を歩いて植物の動きをみると、頭の中がさらに混乱してきます。「いったいどうなっているのか？」とびっくりすることばかり。

### 春の開花と芽生えがあちこちに



上2枚のツツジの花はよくある「季節違い咲き」

ですまされるかもしれませんが、上右のヤブガラシの新しい葉の展開、左中はヤエムグラだと思いましたが、これも春の展葉中。左下はヒナタイノコズチのみずみずしい展葉と花に



は昆虫。(イノコズチの花はパサパサで色気も何にもないように見えるのに、黄色いちょうちょ(キタキチョウ?)がおいしそうに蜜を吸っていました。こういう植物も生物が生きるのに必要な植物)。



←**アメリカフウロ**は春に咲く花。かと思えば、石神井川緑道では初めて観察される種が続々・・・。しかも、春の姿で登場！ 右の上から順に、**タケニグサ**（と思われる）の展葉、**オオケタデ**（白花なのでシロバナサクラタデか？）が開花、さらにさらに**シロザ**（と思われる）に**クワクサ**が開花。**ヨモギ**は春姿の葉にさらに新しい芽をのぞかせています。

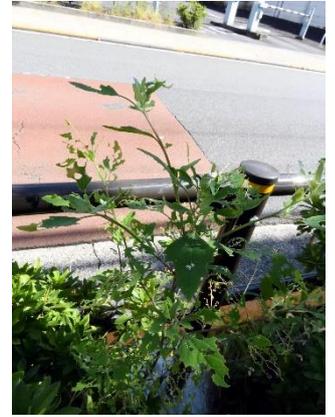


## 秋の花センダングサは2種観察

秋の野草で昔から親しまれているものにセンダングサというもの



があります。果実がトゲトゲで衣服にくっつきやすいことでも知られていますが、これがじつに何種類もあるのです。アメリカセンダングサ、コセンダングサ、コシロノセンダングサ、アイノコセンダングサ、センダングサ。



さらに厄介なのはどれも葉の形が同じ。花が咲いてみないと種の同定ができないのです。花びら（キク科ですから舌状花）がないものがいちば



ん普通に観察される**コセンダングサ**（左上）、白い



舌状花が付いているものが**コシロノセンダング**（左中）だそうで、10/14の観察では、この2種がありました。



←**冬の花・サザンカ**も咲きました